

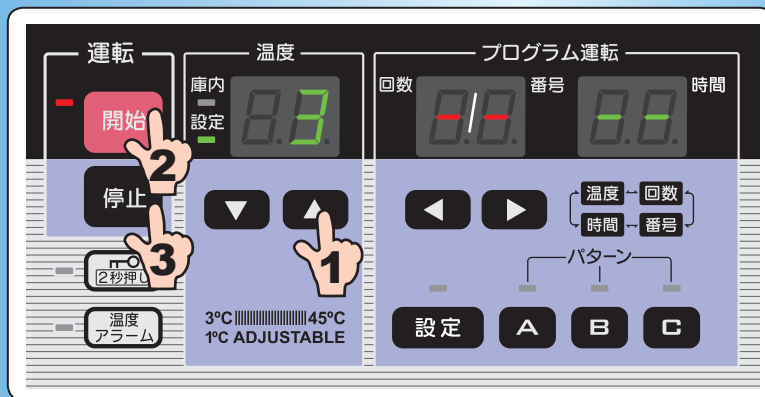
■ 庫内温度を一定に保持したいとき(定温モード)

●詳細は取扱説明書(8頁)をお読みください。

1 ▼ または ▲ を押し、ご希望の設定温度に変更します。

2 開始 を押し、加温 / 冷却運転を開始します。

3 停止 を押し、運転を終了します。



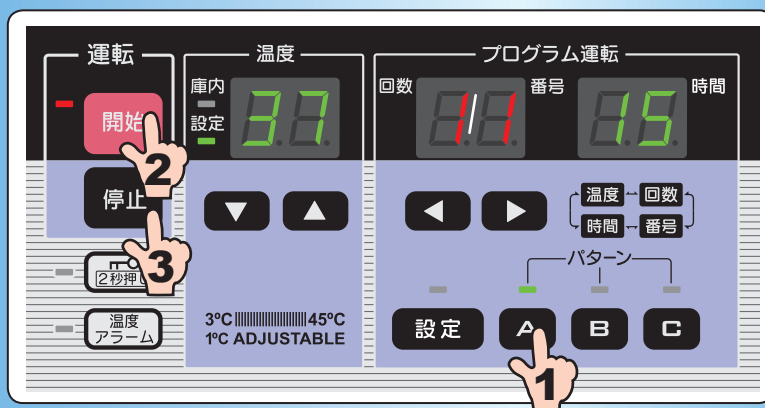
■ 庫内温度を一定時間毎に変化させたいとき(プログラムモード)

●詳細は取扱説明書(9～10頁)をお読みください。

1 A B C のいずれかを選択し、事前に登録されたプログラムパターンを表示します。
(出荷時には下表(※)のプログラムが登録されています)

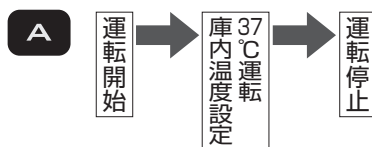
2 開始 を押し、加温 / 冷却運転を開始します。

3 プログラムにしたがい、自動的に運転を停止します。途中で止めるときには 停止 を押します。

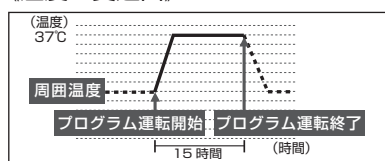


●登録されたプログラム内容を変更するときは裏面をご参照ください。

※ 出荷時のプログラム内容

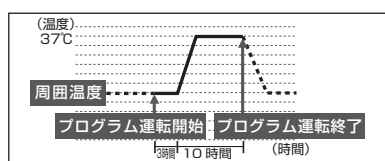
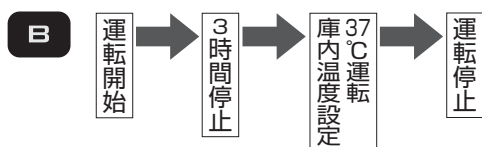


《温度の変遷図》

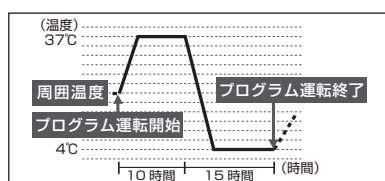


《数値》

温度	回数	番号	時間
37	1	1	15
--	1	2	--



温度	回数	番号	時間
--	1	1	3
37	1	2	10
--	1	3	--



温度	回数	番号	時間
37	1	1	10
4	1	2	15
--	1	3	--

【ご注意ください】

庫内が設定温度に到達するまでには、一定時間が必要です。到達までに必要な時間は、庫内に入れる試料により変化します。到達時間の目安は、取扱説明書(11頁)をご参照ください。

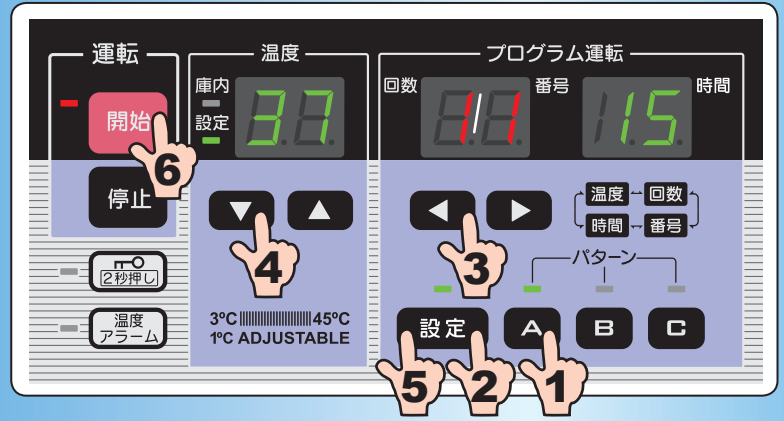
登録されたプログラム内容を変更したいとき

●詳細は取扱説明書(10～14頁)をお読みください。

本シートは使用方法の概要を示したものです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

1 **A B C** のいずれかを選択し、事前に登録されたプログラムパターンを表示します。

2 **設定** を押し、プログラムパターンの設定を変更するモードに入ります。



3 変更したい項目(**温度** **回数** **番号** **時間**)のうちのいずれかを **◀** または **▶** で選択します。(選択した表示部の値が点滅します)

4 **▼** または **▲** で点滅した温度 / 回数 / 番号 / 時間に、ご希望の値を入力します。

5 数値入力後 **設定** を押し(または 10 秒経過)、設定内容が自動更新されます。

6 **開始** を押し、プログラム運転(加温 / 冷却運転)を開始します。

設定可能な項目

- 温度** 庫内の設定温度は 3℃～45℃、1℃毎の設定が可能です。“--”は加温 / 冷却動作の停止を示します。
- 回数** 記憶したプログラムを複数回(最大 3 回まで)繰り返すことができます。
- 番号** 1～9 までのそれぞれのステップ番号に、温度と時間の設定が可能です。
- 時間** ひとつのステップ番号あたり、1～99 時間、1 時間毎の設定が可能です。“--”はプログラム運転の終了を示します。

※具体的なプログラム設定例

温度	回数	番号	時間	設定されたプログラム内容
--	1	1	3	3 時間後に運転を自動開始します。
20	1	2	10	庫内温度設定 20℃運転を 10 時間行います。
35	1	3	25	庫内温度設定 35℃運転を 25 時間行います。
--	1	4	10	10 時間運転を停止します。
3	1	5	15	庫内温度設定 3℃運転を 15 時間行います。
--	1	6	--	運転を停止します。(設定は時間に "--" を入力します)

便利な機能



操作ロックキー

運転中の誤操作防止に使用します。

2 秒以上の連続押しで設定可能です。(運転中のみ設定可能です)

操作ロック設定中は、**2秒押し** と **温度アラーム** (解除のみ) 以外のキーは操作無効になります。



温度アラームキー

庫内温度の異常状態を警告します。

庫内温度が設定温度に到達後、何らかの原因で設定された温度に対して ± 5℃ 以上変動した時に、ブザー音と温度アラーム表示の点滅で異常状態を警告します。

【ご注意ください】

庫内が設定温度に到達するまでには、一定時間が必要です。到達までに必要な時間は、庫内に入れる試料により変化します。到達時間の目安は、取扱説明書(11 頁)をご参照ください。

本シートは、耐水ペーパーです。